



平成 26 年 9 月
創刊号

東横連携だより **LINK**

地域とのつながりを大切に

病院
理念

「生命の尊厳とキリスト教の愛の精神」を重んじ、
病める人を癒す、愛ある医療を目指します



東横連携だより 発行にあたり

病院長・消化器外科 宮島 伸宜

平成 26 年 4 月より病院長を拝命いたしました。舟木成樹前病院長を引き継ぎまして身の引き締まる思いです。聖マリアンナ医科大学東横病院は平成 20 年 6 月のリニューアルオープン以来 6 年が経過いたしました。この機会に近隣の先生方と東横病院がいっそうの連携を深めていくために東横病院の紹介と最近のトピックスを newsletter 形式で刊行させていただくことになりました。

新東横病院は、これまでと異なり、脳卒中センター（脳卒中科、脳神経外科）、心臓病センター（循環器内科）、消化器病センター（消化器内科、消化器外科）の 3 センター、5 部門でスタートいたしました。各センターが目指すところは、低侵襲の治療です。最新鋭の技術を駆使して低侵襲でありながら治癒を目指すことを目標にしています。もちろん、通常の治療も行っておりますので各センターの紹介をご覧いただければ幸甚です。また、救急疾患に対しましても 24 時間体制で臨んでおり、地域に根ざした医療も行っております。

本年 4 月からは健康診断センターを新たに立ち上げ、企業健診、人間ドック、女性検診を統合し、開始



いたしました。病気の診断・治療だけではなく、予防にも力を入れていく所存です。さらに、昨今話題になっております睡眠時無呼吸症候群の診断と治療の枠を広げ、ニーズに応えるべく体制を整えました。これからも、武蔵小杉という立地を生かした新しい診療体制を作っていくたいと考え、職員一同、よりよい医療のために邁進して参る所存であります。私どもの至らぬ点や改善すべき点がございましたらどうか、忌憚のないご意見を頂戴できれば今後の改善につなげていきたいと存じます。

今回刊行されました LINK が号を重ね、近隣の先生方との連携を深まってまいりますよう祈念いたしまして第 1 号発行のご挨拶とさせていただきます。

各センタ

消化器病センター

副院長・消化器病センター長 中嶋 孝司

当院消化器病センターには二つの特徴があります。一つはより良い診療を行う為、消化器外科、消化器内科、消化器内視鏡が一体となる体制を整えています。もう一つは低侵襲治療を可能な限り行うことです。

一体となる体制を整える為、毎朝ミーティング、回診を行い、情報を共有しています。外来診療は消化器外科と消化器内科に別れますが、疾患、病状により、より適切な方で行ないます。入院診療も同様です。例えば消化器内科に受診、又は入院した方でも消化器外科での診療が良いと思われれば消化器外科でも診療します。

診療の中心は手術と内視鏡診療であり、低侵襲の手技を目指します。手術においては可能な限り鏡視下手術を行ない、更なる低侵襲手術（単孔式）を取り入れていま



す。内視鏡においては局所切除で治癒が望める病変には消化器外科バックアップの元、積極的に ESD 等の内視鏡治療を行います。

脳卒中センター

副院長・脳卒中センター長 植田 敏浩

脳卒中センターは脳卒中科と脳神経外科からなり、合計 11 名の医師が在籍しています。開院以来、常に 24 時間体制の救急医療を行っています。脳卒中だけでなく、意識障害、頭部外傷、頭痛、痙攣、失神、めまい、しびれ、ふらつき等あらゆる神経救急疾患に対応します。

当センターの特徴は、低侵襲治療である脳血管内治療を 24 時間体制で行っていることです。特に急性期脳梗塞に対する tPA 治療（発症から 4.5 時間以内）に加えて、本年度から新しいステントタイプのデバイスが認可された血栓回収療法（発症から 8 時間以内）に力を入れています。また、くも膜下出血に対する脳動脈瘤塞栓術、さらに脳卒中予防治療として頸動脈ステント留置術や頭蓋内脳血管拡張術などを行っています。一方脳神経外科では脳動脈瘤クリッピング術やバイパス手術、また脳腫瘍摘出術など一般的な脳神経外科疾患に対する治療も行つ



ています。さらに一般的な神経内科的疾患にも広く対応し、頭痛外来、物忘れ外来、ポツリヌス治療外来等の専門外来も開設しています。

ーの紹介

心臓病センター

心臓病センター長 三須 一彦

当心臓病センターでは、高血圧、不整脈、心不全、心筋症、動脈瘤、閉塞性動脈硬化症など循環器病全般の診察を行っておりますが特に狭心症、心筋梗塞など虚血性心疾患のカテーテル治療が専門です。今後の当センターの方向性について報告致します。

交通事故の原因には居眠り運転が注目されていますが、居眠りの原因として睡眠時無呼吸症候群が注目されております。仕事中の居眠りや集中力の低下には睡眠時無呼吸症候群の関与が指摘されてから久しくなりますが、社会的にも診断の重要性は増す一方です。そのため睡眠時無呼吸外来を金曜午後だけでなく、火曜午後、木曜午後（第2、4週）と増やしました。また、心臓血管外科領域に対応するため、心臓血管外科外来を金曜午後（第2、4



週）に新設しました。開心術は大学病院での対応となります、当院では今後下肢静脈瘤の治療を目指して準備中です。下肢静脈瘤にお困りの際にはご相談ください。

健康診断センター

健康診断センター・循環器内科 長田 尚彦

2014年4月より健康診断センターがオープンし、これまでの女性検診だけであった機能をバージョンアップしています。診察担当医として吉田浩幸医師、内視鏡担当医として有田正秀医師を新たなスタッフとして迎えて運用しております。健康診断センターは主に人間ドックの診療をしており、これまでの乳がん、子宮がん検診も従来通り行っています。

当院の人間ドックの特徴としては以下の様な内容です。
○朝8時から受付開始します（7時50分 正面玄関解錠）。
○受診時間内に検査結果ができるものは、当日結果説明が可能です。
○基本的に人間ドックは、結果説明を含めて午前中に終了いたします。（来院後2時間半以内に会計が終了するように心がけています）
○胃の検査は経鼻内視鏡検査を中心に施行いたします。



○簡単な胃の組織検査（生検）はその場で施行可能です。（希望者のみ 別途 保険診療になります）
○女性の方の診療、検査は、主に女性のスタッフで行います。なお、精密検査が必要な場合は、当院外来または関連病院への紹介をいたします。
今後ともみなさまが利用しやすい健康診断センターを目指しておりますので、お気軽にご受診ください。

医療支援・連携室の紹介

医療支援・連携室では、開業されている先生、病院の先生からのお問合わせ、ご紹介予約をスムーズに行い、患者さんにご不便、ご面倒をおかけしないようにお手伝いさせていただきます。先生方からあらかじめ基本情報をいただくことにより、患者さんは、受診当日の事務手続きを省略することができ、お待ちいただく時間が少なくなります。

医療機関の診療予約・検査予約 申込みの流れ

●先ずは直接電話（医療機関向け専用）へお電話ください

お電話にてご希望日時のご相談を承り、仮予約をお取りします。

TEL : 044-722-2216

電話対応時間	平日	8:30～16:30
	土曜日（第2,4,5）	8:30～12:00

●仮予約後 紹介状1枚目をFAXにて医療支援・連携室へ送信ください

(当院所定の診療情報提供書用紙が必要な際には、医療支援・連携室までご連絡ください。
当院HPからダウンロードもできます)

FAX : 044-733-6658 (FAXは24時間稼働しております)

FAX返信対応時間	平日	8:30～16:30 (16:30以降は翌日)
	土曜日（第2,4,5）	8:30～12:00 (12:00以降は週明け)

＜予約検査項目＞

●X線一般撮影(当日相談可能)

●CT検査(当日相談可能)

●MRI検査

(当日でも優先的に検査可能な地域連携専用枠(15時)があります)

●超音波検査

(腹部・心臓・甲状腺・頸動脈)

●内視鏡検査

(上部・下部)

医療支援・連携室より

受診日時もしくは検査日時のお知らせをFAX送信

※原則としてFAX受診後30分以内にご連絡いたします

患者さんに診察予約票もしくは検査予約票をお渡しください

診察経過及び検査結果は郵送にてご報告致します



第5回 東横病院地域連携の会

平成26年5月29日(木)に「地域連携の会」を日吉駅から徒歩1分の「クイーンアリス ガーデンテラス日吉」にて開催し、日頃より患者紹介などで医療連携を行っている近隣医師会の先生方にも多数ご参加いただきました。当院の各センターの機能、各医師の紹介も行い、普段は紹介状や電話のやり取りで顔を合わせる機会の少ない先生方とも直接お話しすることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後もこのような企画を通じて地域の医療機関との連携を強化していきたいと考えています。

医事課長・医療支援連携室課長 村松 隆志



聖マリアンナ医科大学東横病院

〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町3-435

TEL:044-722-2121(代表)

TEL:044-722-2216(医療機関向け・連携室直通)

FAX:044-733-6658(連携室直通)

編集
後記

最後の最後までタイトルを悩みましたが、地域とのつながりをより大事に、患者さんを地域全体で支援していくという思いから「LINK」になりました。

地域の皆様に愛される広報誌になれるよう内容の充実を図りました。ご意見、ご感想等ありましたら、遠慮なくご連絡ください。今後ともどうぞよろしくお願いします。(M・H)